

…★私の記録より★… (2)



御茶の水女子大學幼稚園

堀合文子

不安ながらも計画は種々たてました
が、一年後の現在どの程度実行された
か、又どんな結果があらわれたか、こ
とに反省してみましよう。前回にも述べ
たように計画がその通り実行され
たではありません。むしろ実行されな
かつたと言つた方が適切かもしませ
ん、がただ社会的生活が出来、健康な
生活があくれゝばそれでよいとのみ
希望を持つて過して來た事、重ねて一
言かきそえておきます。

○お話

△計画 お話は年少ほど活用範囲も
広く材料もたくさん用意しておく。内
容は平易なもので物語式のものは一応
考慮し時をまつ。

お話合いの機会を多くして、ただ話す
して聞かせるのではなく話合いつゝ話す
ような法をとる。
絵本をみて話したり、紙芝居を多く
利用する。

△実行 出来るだけ平易なものを選
択したつもりだが、一向に面白うで
なく、話方のかげんとか、一二回繰返
したが、おもしろそうでない。そこで
今度は、絵をみせながらお話をはじめ
た。勿論、紙芝居も絵本もこの場合効
果的であり、これで幼児達の顔にも理
解と楽しがみえて來た。一学期の間
は唯聞かせるお話はやめて絵によるも
のみにて過し二学期に入り、理解力
がついた様なので話を初めてみた。こ
の時より聞くお話とゆうものに興味が
出て来て、自分達より要求してくるよ
うになり、此方の期待どおり、面白い
時は共にわらい、こわい時はと、喜怒
哀樂を表現する様になつて來た。即
ち、聞くお話を理解するようになつた
のでよう。現在は、相当の筋の通つ
たものの方をよろこび、物語式のもの
本に出ていると特に話してと要求して
来るようになつた。一つの進歩は、自
分達がお話を友達に聞かせるようにな

なつて来た事でこれは皆ではないが一部 あつた。
の女兒にこれがみられる。

それから、お話合の場合、初めはただ

○製作

例えは日曜にした事を話す場合「玩具で
あそびました」とのみ言いましたが、現

在は「誰と何をどこでした」とか「誰と
何處へゆき何をしてどうだつた」という
ように複雑な文の構成も出来るようにな
つた。一時、最年少者のものがこの発表
をしなかつたが、現在は皆喜んでやるよ
うになつた事を附加えておきます。

△反省 三歳児には絵のお話合より、
入つていつた方がよかつた。

大人がいわゆる平易でたわいのないも
のとして、年少者用に選択したのはむし
ろ理解しにくいものゝようだ。(例えは
談話集の中のボニボニ等)

年少程、副詞、擬音を沢山用いてその
様子を如実に表現した方がよいようだ。
紙芝居の本当によいものを豊富に用意
しておきたい。

もう少し話題を広範囲に選択すべきで

△計画 これはあまり期待しないこと
であつたが、将来の基礎ともなる技術な
るものをしてかりこの一年でつけようと
考へ、同じ材料でも、この年齢において

は先生の手伝う個所が多くなるかもしれ
ませんが、広く経験する意味で生活の中
へ製作も折込みました。

先づそれには段階を踏んで、塗る事に
一週間、切る事に一週間費やす。勿論そ
の時の材料は塗るだけで完成するのでな
く、先生の助力もかりて、すぐ遊べるも

のを選び。

当分の間この様に部分的のものを続け
△反省 一つの製作を完成するには、
そこに塗ることあり、切る事あり、画く
事があります。部分的にした場合はその
一部のみ幼児達が経験するわけで、わざ
わざ今日は塗る練習、今日は切る練習、
といわなくも、此方の仕度の程度で目的

事はとかく、つまらぬ練習的になり易い
為、製作後すぐ遊べるものを持ち選び、
むずかしい所は先生の助力をもつて一つ
の者を完成しました。

材料は細かい手の込んだものはさけ
て、大まかな興味のありそうな題材をえ
らびました。

一学期は部分的な関連性のあまりない
もの。

二学期は遊びの中から製作へ発展させ
て小規模な誘導保育として汽車ごとこを
おしごと展覧会を開き、お互いに反省し
たわけです。

△反省 三年期は、一年間の足跡をたどる為に
おしごと展覧会を開き、お互いに反省し
たわけです。

後、それを遊びの中に誘導し小さい主題

の元に発展させる。

この一年は遊びより引出した小さい誘

導にとどめて、後述のかく事、切る事、

ねる事を皆がある程度興味が持てるよう

にする。

は充分です。幼児達が楽しんで興味を持つて製作し又その製作後はそれで幼児達の生活を樂しましてくれる様な題材を選ぶ事が、三歳児には一層必要で又その幼児達の製作する部分を此方の目的によりよく検討して、三歳児に過重でなく目的が経験されるように準備する事が必要だと思いました。

鉢は下手ながらも全部のものが一應つかいました。その中、年長者と同様スムーズに使えた者が、男子四名、女子六名。

たどつては切れぬ者、男子四名、女子一名。二学期の終り頃よりこれらの者も筋を通つてスムーズに切れるようになります。一年後の現在は相当厚紙も自分達で何とか筋通り切ります。

二学期の終り頃、やたらと皆が切る紙を下さへと言つて、チヨキチヨキ紙を細かく切つては色々形をつくつてしましました。

唯の紙を与えて好きなものを作らせま

したが、少し無理なのか、一生けんめいと思つた。

工夫して何かつくりうとする者が、男子三名、女子三名。他の者はあまり興味を持つていませんでした。作品は勿論上手でなく、色も別についているのではなく、色も別についているのでなく、見ても何か一見わからぬものですが、三歳児でやろうとして工夫しただけで一つの収穫だと思いました。今後もこのよくな面を大いにすべての幼児達にも、のばしてあげたいと思つています。

○観察

△計画　観察の目的を持つて環境を常に考慮する。

実際に飼育出来るものはする(動物、

虫類、植物栽培)

お詫合によつて皆の生活の中より観察の材料をみつけてこれを発展させる。

絵本を利用してお詫合より観察の目的を考慮する。

質問が多い年齢だと思うので、その質問に対する態度を考え、伸ばしてゆくよ

うにつとめる。

△実行　観察の点に於ては私の失敗で、環境には注意をしたのですが、實際持つていませんでした。作品は勿論上手に飼育し、経験させる方の計画は殆んど実行しなかつたといつてもよい位でし
た。計画の時は年長組より特に豊富に経験させる為の準備が必要と思い部屋の中の飼育、植物の栽培等夢といいましようか、理想を書いていたのですが、一つに人数の少い為の材料費の経済上と、それ
に今考えると私の実行力の薄かつた事も大なる原因で、この欄にはあまり記録が上らなかつたわけです。

他の組で飼育していられるものは拜見する位の程度でした。

四季とゆう事は相當観察しました。

比較的男子の方が詫合等の時に積極的に又細かい観察力も持つていました。

△反省　前述のように観察は實に貧弱なもので、特に経験する上には本当に子供達にも申証ないと思つて責任を感じてあります。

何事もそうですが、私自信観察に興味を持ち、知識を持たねばならぬと思いまし
た。

○お書き・切紙

△計画 画ける画けないによらず数多く画かせる。

大きい紙に大胆にかかせる。

三歳児でも、たとえ出来なくとも、クレヨン、墨、えのぐ、指画とすべて経験させれる。

全然かけぬ人も特に教えたりせず、その子供が自然にかける時期をまつ。

女子四名。

人のまねをしないで自分でどんどんかけるようにしたい。

切紙は、此方から題材を与える事はないで好きなものを常に切らせる。

切紙もお書きも一ヶ月に一回画いたのを集録し、その経過をみる。

ぬりえは全然させない。

△実行 全然クレヨンを持つた事のな

い人は一人もいなかつた。

入園までに家庭でお書きを特に好んでいたものが男子四名。女子四名。

唯画いた事のあるもの男子二名。女子一名。画いた事はあるがあまり興味のなかつたもの男子二名。女子一名。ぬりえばかりしていたもの女子一名。(以上入園前の調査)

月に入り錯画の者がなくなつた。即ち下手ながら自分の意志が表現出来るようになつた。

一年後の現在画に興味を持ち一日一回

は自由画帳を出して来て画くようになつた。題材も個々別々の絵でなく、関連さ

れ了一幅の絵を画く事が出来るようになつた。即ち、主題がありそれに対する背

景となるもの、景色を画くことが出来るようになつた。その作品には優劣はある

が下手ながら、前述の觀念を皆が持つようになつた事はよろこんでいる。

紙は八つ切り大を始めとして四つ切り

ハトロン紙大を一枚づけて黒板一杯に

はりつけてかゝせたり、又葉書大の小さ

いものにもかかせた。形は画洋紙の型の

みでなく、円形、扇型、短冊型と種々経験

させた。幼児達は円形は円形のように、

扇型は扇型のようにそれにあつたといい

ましようか。普通の画洋紙とちがつた感

じのものと画いた事は面白いと思つた。

切紙をはじめ、切つて張るとゆういわ

ゆる切紙を自由にさせていたが、何度もしてしまわぬのをつくる。その

中、家庭で教えていたのか、五つ

七つ等に折つて模様を切る事を覚えてそ

れを貼出した。これは勿論よさせて他の

事に転換させたが、切紙に対する興味は

殆んどない。それで二学期の終りだつた

か鉄をつかわず、ちぎり紙という、手で

ちぎつてやるのをさせた。と、実に切紙

で何も出来ぬものも、おもしろい、動的

なものを作り上げた。幼児達も勿論楽し

そうにやり、切紙より興味はあるらし

い。

現在では、その人の好きな方をさせて

いる。

△反省 お画かきの際、絵具を多く使

い過ぎた為か、クレヨン画では大きくな

く事はよろこばず、又、あまりのびのび

とかけない。クレヨン画は大きさに限度

があるのでないかと感じた。

クレヨンではあまり画かね子供も絵具

では大いによろこんで画く。

クレヨンの色も八色でなく他の色も要
求するようになつた。

△附記 ねりえをしない変りに、紙を

織紙のような碁盤に区切りそれを模様の

ようにねらせた。碁盤は勿論、この年齢

には八つ切に六個の大きいもので、色の

調和というものを目的にした。比較的女

子の方が調和に対する觀念がある。全然

碁盤の線を無視したものは唯一人男子が

あつた。

指画をしてみた。非常によろこんだ。

性格によりその表現が違い、おとなしい

もの、用心深いものは線は細いので不

鮮明、性格が強く、明るいむしる無つ

ぱうのものは線が強いて却つてみた所

は、はつきりして面白いものが出来た。

○自由遊び

た。

九月一十月 全体で遊べるようになつ

た。女子と男子とが別れて遊ぶようになつて、又三歳児には、仕事等よりもこち

らを大いに考えてあげねばならぬわけである。

十一月一三月現在 グループが出来た

計画を立てぬわけではないが、一刻一刻

を適当に誘導、指導して前述の事に發展させる事を考え、少しでも幼児の生活を豊富にするようになってきました。

家庭より始めて社会生活へとびこみ、お友達と遊ぶ事は彼等にとって大なる問題もあり努力もありました。

入園当初全然友達とも、先生とも遊びなかつたもの、男子二名、女子一名。こ

れは大体一学期間この状態を続けていま

したが二学期になり急に友達とゆう意識も出来皆と遊ぶようになりました。次の

その変遷の状態は、

四月一五月 引つばつてもらつて遊ぶ六月一七月 自分一人が自分の好きな事をして遊び始めた。その中一二三の友達も出来た。

九月一十月 全体で遊べるようになつて、

で実によく遊び。自分達だけで遊び（例えば鬼ごっこ等）をはじめるようになつて來た。

○遊びの種類

- (1) 絵本、床上積木すべり台砂場遊び。
(2) ぶらんこ、中大積木、すべり台、砂場遊び。

(3) ままごと、汽車ごっこ、ぶらんこ、砂場でトンネルとか山作り。

(4) 鬼ごっこ、かごめ、汽車ごっこ。

(5) 汽車ごっこ、汽船ごっこをままごとに連闇。

(6) ままごとを發展させて売やごっこを自分達ではじめて、ままごとを連闇させて遊ぶ。

(7) 男の子は積木で電車、船等をつくり電話線等も繩でひいて遊ぶ。

以上(1)、(2)の順に遊びが転回していくわけで、現在は友達同志よく遊べるようになり、仲間はずれでいつも遊べぬ人はいなくなりました。

(つづく)

(四二頁より)
保管することや活用方法を計画し実践すること。

七、関係諸機関との連絡

園長は教育行政の一端をなす者であるから、常に他の機関と連絡協調して、教員が安んじて新しい教育方法等を知りうるように努力すべきである。なおその園の現状を関係方面に正しく伝え、お互いに協力して幼稚園教育の振興に助力すべきである。

八、父母や地域社会への協力

園長は幼児教育に対する父母のよき相談相手となり、特に母の会やP・T・A等とは密接に連絡し、あるいはすゝんで地域社会の教育のためのしごとを援助していく必要がある。

九、突発事項の処理

非常災害等にあたつては、明断をもつて、人的物的ともにその災害から難をまぬがれるように最善の努力を拂わなければならぬ。

以上いろいろ述べてきたが、要するに管理は教育目的のそれではないが、教育計画に欠くことのできない要件であり、しかも広範多岐に亘つてゐるものであるから、今後じゅうぶん研究して、各園長がよき管理者となられるよう切に望む次第である。